

【ミッション】

クリエイティブ × テクノロジーで 東京をより良い都市に変える表現・探求・アクションをつくり出す。

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] のコアプログラムのひとつ「アート・インキュベーション」は、クリエイターに新たな創作活動の機会を提供し、そのプロセスを市民に開放することで、都市をより良く変える表現・探求・アクションの創造を目指すプログラムです。公募・選考によって選ばれる5組のクリエイターは、「CCBTアーティスト・フェロー」として、企画の具体化と発表、創作過程の公開やワークショップ、トークイベント等を実施し、CCBTを共に作り上げるパートナーとして活動します。

2024年度は、様々な主体による共創の実現や、社会や生活にある複合的課題へのアプローチ、テクノロジーの進展によって変容する私たちの社会・生活、未来の創造性の探求を目指し、下記2つのカテゴリーにて企画を募集します。

1. CCBTアーティスト・フェローの活動とは

(1) 新たな表現の創造・研究開発および発表

CCBTを拠点に創作活動・研究開発等を行い、その成果をCCBTおよび都内にて発表・展開する。

(2) 創作活動・研究プロセスの公開

創作活動およびそのプロセスの公開や、ワークショップ、レクチャー、ハッカソン等の開催を通じ、市民がテクノロジーを通じた創造性を学ぶ機会を創出する。

(3) 多様な人々との協働と共創

市民、アーティスト、デザイナー、エンジニア等、CCBTに集う人々、さらにはCCBTを取り巻く様々な主体との協働を牽引し、未来を共創する場を創造する。

2. 募集カテゴリー

本プログラムのミッションを踏まえ、企画提案を下記 (1) (2) のカテゴリーにて広く募集します。

各カテゴリーに関する実施内容の要件については、下記「4. 応募者・企画内容の条件」を必ずご確認ください。

(1) これからの「創造性」に着目した「ツールやプラットフォームの開発」と、それを活かした表現活動

テクノロジーを通じ、多様な背景をもつ人々による共創を実現したり、社会や生活にある複合的課題にアプローチしたりするためのツールやプラットフォームの開発。さらに、それらを活用したアートやデザインに関する活動を通じて、テクノロジーによる創造性や、必要なルールメイキング、コミュニティデザインのモデルを広く提示する。

事例：

- ・気候変動や環境問題などの様々な課題に対して可視化するプラットフォームの開発とレクチャー
- ・メタバースや現実世界での新しい身体性を獲得するためのツール開発やパフォーマンス公演
- ・ダイバーシティ（多様性）、インクルージョン（包摂性）、エクイティ（公正さ・公平さ）に寄与するツール開発や展示会
- ・デジタルクリエイティブの教育に資するオリジナルのツールキットの開発やプラットフォームの構築
- ・AIやバイオテクノロジーを用いたツールキットの開発と、それを用いた調査、展示会

(2) これからの「人間らしさ」に着目した「探求やアーティストック・リサーチ」と、それを活かした表現活動

テクノロジーの進展によって変容する私たちの社会・生活、未来の創造性を、アートとデザイン、市民参画等の視点から探求・調査研究するプロジェクトやアート表現の発表。これにより、ブロックチェーン、DAO、メタバース、AI、バイオテクノロジー等がもたらすこれからの社会や「人間らしさ（ヒューマニティ）」について、市民とともにクリエイティブに考える機会を提供する。

事例：

- ・メタバースや現実世界での身体性、これからの人間性、生や死などに対する考え方にアプローチする作品の発表
- ・人類の創作活動と人工知能（AI）の関係を探求するためのリサーチと展示会
- ・バイオテクノロジーを通じ、地球環境における多様性について探求するためのワークショップと作品の発表
- ・気候変動や環境問題などの様々な課題に対し、アートやデザインを通じて問いかける企画
- ・AIやバイオテクノロジーを用いて、これからの人間らしさ（ヒューマニティ）への探求を通じた企画

3. フェローへのサポート内容

(1) 制作サポート

フェロー活動に対する経済的・環境的なサポートとして、1,000万円を上限とした制作費および制作活動やミーティング等に必要なスペースを提供する。

(2) レベルアップサポート

企画の具体化にあたって、メンターをはじめとする専門家によるアドバイス・技術支援等を受ける機会を提供する。

(3) プロモーションサポート

CCBTウェブサイト・SNSにおける情報発信、本プログラムを紹介するパンフレットや会場サイン等への掲載、作品や企画の記録・アーカイブの構築をサポートする。

(4) マネージメントサポート

作品や企画を広く公開するために必要となる会場手続き、会期運営、機器運用、作品設営等のマネージメントをサポートする。

メンター

宇川直宏 氏（“現在”美術家、DOMMUNE 主宰）、清水知子氏（メディア研究者、文化理論家）

田中みゆき 氏（キュレーター、プロデューサー）、水野祐氏（法律家、弁護士/シティライツ法律事務所）

4. 応募者・企画内容の条件

以下の(1)～(10)の全てを満たす応募者・企画内容を対象とします。

- (1) 日本在住であること。
- (2) 18歳以上であること。
- (3) 応募者（団体の場合は代表者）は、5年以上の活動履歴を有する、または、これまでに顕彰等受賞歴があること（選考にあたっては、これまでの活動歴等も考慮します）。
- (4) 企画の実現に向け、メンターとの面談（3回程度）と、2025年3月に実施予定の成果報告会に参加が可能であること。
- (5) 応募した企画を2024年12月～2025年2月28日の間にCCBTまたは都内で発表すること。
- (6) フェロー活動期間におけるリサーチや制作の過程、並びに成果を映像（5分程度）にまとめ、公開すること。
- (7) 創作活動とそのプロセスの公開、ワークショップやレクチャーの企画・登壇、交流イベント等の開催など、コア活動期間*を延べ20日以上設けること。

*コア活動期間とは

ワークショップ、オープンスタジオ、成果発表となる展示会や公演等、CCBTを拠点にして活動する期間

- (8) コア活動期間を通して、SNS等を用いた継続的な情報発信を行い、フェロー活動の周知を行うこと。
- (9) フェロー活動を通じて生み出されるソースコードや機器利用方法、運営のノウハウ等のナレッジを、市民をはじめ多様な人々がアクセスできるようオープン化に努めること。
- (10) フェロー活動の成果として下記を実施すること。

【募集カテゴリー1】

- ・制作したツールキット、プラットフォームをオープンライセンスで公開すること。
- ・ツールキット、プラットフォームに関するドキュメントの制作と公開を行うこと。

【募集カテゴリー2】

- ・リサーチ等の活動の過程をオンラインツール等を利用して公開すること。
- ・リサーチ成果を展示や公演等で広く一般に公開すること。

5. フェロー委嘱予定期間

2024年8月1日から2025年3月31日まで

（委嘱期間中、CCBTの活動に多方面から参画すること）

※アーティスト・フェロー委嘱後、著作権の帰属や制作費等の支出に関し、運営事務局との契約締結を行います。

6. 応募方法

応募フォームからご応募ください。

<http://ccb-t-art-incubation.jp>

※応募には、応募フォームへの記入と、書類の提出が必須です。詳細については【提出書類】を確認ください。

※応募は電子データでのみ受け付けます。郵送対応等はしていません。



【応募時の注意事項】

応募者が団体の場合は、団体名とともに必ず代表者および団体メンバー全員の氏名および所属先を登録すること。

団体名の例：『企画名』制作チーム/ユニット名/作家名の連名/企業名 等

【提出書類】

(1) 企画提案書

形式自由（A4サイズ、背景白、最大15枚、PDFファイル（15MB以下））

※企画提案書のほか、参考となる映像等の提出も可能です。

※企画提案書には、上記1に記載された CCBTアーティスト・フェローの活動およびCCBTのミッションを踏まえ、具体的な詳細が分かるよう、下記の内容を記載してください。

- ① 作品コンセプト、作品形態、使用する制作ソフトや技法、完成時の具体的なイメージなど
- ② 作品発表プランやプロジェクトの展開
- ③ CCBTアーティスト・フェローとしての具体的な活動計画
（CCBT内スペースの活用方法、CCBTでの活動日数、ワークショップ・レクチャー等の実施計画など）
- ④ 制作スケジュール
 - ・実現可能な内容とすること。
 - ・2025年3月以降も制作、発表予定がある場合は併記すること。

(2) ポートフォリオ（これまでの活動や制作した作品が分かる資料）

形式自由（A4サイズ、背景白、最大15枚以内、PDF形式（15MB以下））

※PDF等資料のほか、映像（5分以内推奨）等の提出も可能です。

(3) 予算書（定型様式）

予算書は、制作予算額を決定するための資料です。企画提案に係る必要経費を、定型様式に従って項目ごとに記載してください。なお、制作予算額（1,000万円上限）外に発生する自己資金等の支出についても明記してください。

【留意事項】

- ・採択後に精算規則および予算執行方法の説明を行い、事務局協議の上で再度詳細な予算書を作成・提出いただきます。そのうえで、企画内容と予算書に沿って予算額を決定します。（決定された予算額を超える場合の超過分については自己負担となります）
- ・展示・上映・上演を行う場合は、発表にかかる会場費や機材レンタル費等を含んだ内容を提出してください。また、会場候補、日程候補も具体的に記載してください。
- ・支出対象期間は、2025年3月中旬までです。予算の範囲内であっても、対象期間外の支出は認められません。
- ・他団体から助成金等による制作支援を受けることが確定している場合、明記してください。

【対象経費】

- ・旅費、材料費、借損費、消耗品購入費、資料購入費、通信運搬費、作品制作費等
- ・制作作業費等に係る人件費（単価・工数、作業内容を明記）
- ・電車、バス、新幹線、飛行機、フェリー等の公共交通機関利用料金
- ・宿泊費：上限税込11,000円/一泊（宿泊の理由・日数を明記） 他

【対象外経費】

- ・航空・列車運賃の特別料金（ファーストクラス、ビジネスクラス、グリーン料金等）、タクシー料金
- ・飲食に係る経費（懇親会費、ケータリング・弁当等）
- ・消耗品以外の機材・物品（PCやカメラ、ソフトウェアなど）
※レンタルでの調達に係る経費は対象となります。
- ※作品や成果の一部として使用する場合、協議の上、購入が認められる場合があります。

7. 応募可能件数

同一応募者による、複数件の応募が可能です。ただし、重複して採択されることはありません。

8. 採択数

5組

9. 審査基準**(1) 企画のコンセプト・オリジナリティ**

企画提案内容に独創性があり、テクノロジーを活用した新たな技法の活用や表現に対するチャレンジがある。

(2) 企画の妥当性・実現性

ミッション、活動テーマに対しての提案内容が妥当であり、かつ予算やスケジュール、実施体制等、企画を具体化するための計画が適当である。

(3) フェロー活動の充実

創作活動の公開や、ワークショップ、レクチャー等の開催など、CCBTにおけるアーティスト・フェローとしての活動が具体的に提案されており、市民や都市によりよい変化をもたらすことが見込まれる。

10. 審査方法・スケジュール（予定）

提出された申請書類を事務局で精査し、審査員による書類審査（一次選考）、面接（二次選考）を経て決定します。

- ・エントリー・申込期間：2024年4月25日（木）～5月26日（日）（応募資料等必着）
- ・一次選考（書類）：2024年5月下旬から6月上旬
- ・二次選考（面接）：2024年6月下旬
- ・選考結果発表：2024年7月上旬（公式ウェブサイト内で発表）

審査員

宇川直宏氏（“現在”美術家、DOMMUNE 主宰）、小川秀明氏（CCBTクリエイティブディレクター）、清水知子氏（メディア研究者、文化理論家）、田中みゆき氏（キュレーター、プロデューサー）、水野祐氏（法律家、弁護士/シティライツ法律事務所）

11. フェロー決定

応募結果は採否にかかわらず、2024年7月上旬（予定）にメールにて通知します。決定フェローの情報は、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] ウェブサイトにて公表します。申請件数や審査の進捗状況によって、通知・公表の時期が遅れることもありますので、あらかじめご了承ください。なお、採否の理由については、お答えしておりません。

12. フェロースケジュール（予定）

- ・メンターとの面談：初回面談：2024年8月下旬
中間面談：2024年10月
最終面談：2024年11月下旬、または、2025年1月上旬
- ・成果発表（作品等の発表）：2024年12月～2025年2月
- ・成果報告会：2025年3月

13. 個人情報の取扱い

申請書に記載された個人情報は、公益財団法人東京都歴史文化財団個人情報の保護に関する規定に則り、適正に管理いたします。ただし、審査や事後評価等のため審査員・メンターや外部有識者に提供することがあります。また、採択者の活動やシビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] のプログラムに関するお知らせ等をお送りする場合があります。

14. 参考

2022・2023年度CCBTアーティスト・フェローの活動

<https://ccbt.rekibun.or.jp/core-programs/art-incubation>



本プログラムに関するお問い合わせ

CCBTアートインキュベーション・プログラム運営事務局 [TASKO内] (担当: 加藤、吉良)

Email: contact@ccbt-art-incubation.jp

電話: 044-299-9788 (受付時間: 10時00分~18時00分 (土日祝日を除く))